

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	日常生活の中で入居者様と近隣住民の交流の機会が少ない。	ラパス主催のオープン喫茶“いこい”を開催して近隣の方々と交流していく。	①2ヶ月に1回の割合で、曜日と時間を決めてオープン喫茶“いこい”を開催する。対象者は、入居者様とその家族と近隣の方々とする。②近隣にポスティングや掲示や回覧板にてお知らせする。③近所のボランティアをお願いする。	6ヶ月
2	12	重度化や終末期の対応に関する事業所方針について職員間での研修・勉強会の継続をしたい。	ターミナルケア(看取り)について職員全員で情報を共有して考えていく。	①ターミナルケア(看取り)に関して必要な知識を勉強会や外部の研修で学ぶ。②当事業所で全体での合同勉強会で事例等を確認する。	6ヶ月
3	13	災害時の備品補充・備品リスト化・管理状況把握・活用方法について職員間で再検討する必要がある。	市が作成するハザードマップを参考に災害時の対策を再検討して安心できるように準備していく。	①矢板市の新しいハザードマップを手に入れる。②備蓄品の再確認及び補充をリスト化していく。③備蓄品準備の手順や管理方法の再確認する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。